アジア会議の Social Programme について*

森 谷 賢 村 上 健

生活排水、し尿の処理、処分と管理に関する第1回アジア会議は、9月30日から10月4日までの間開催され、9月30日には参加者を歓迎する趣旨で Welcome party が、10月2日には日本水質汚濁研究協会長(合田国立公害研究所水質土壌環境部長)の主催によるレセプションが Social programme として開催された。なお、両者とも会場は建築会館のホールにおいて行われた。

Welcome party の司会はプログラム委員の1人として若輩ながら森谷が務めさせてもらうことになり、松本(東北大学教授)組織委員長の歓迎の挨拶、金光(日本環境整備教育センター理事長)組織委員の乾杯の辞により午後6時から始められた。顔見知りの日本の研究者との再会を喜ぶ外国からの参加者、会議が盛会であろうことを主催関係者に語る人々、今日まで準備に追われ一息ついている人々、明日からの本番に備えて入りに打ち合わせをする人々、ホールの中ではビールや水割りを片手に8時近くまで談笑が続いた。

一方、日本水質汚濁研究協会長のレセプションは、会長の招待者である環境庁、建設省、厚生省の局長、課長、各種の公益法人の理事長、日本水質汚濁研究協

会の名誉会員等を含め、Welcome party を凌ぐ参加者を得て立食形式で行われた。合田会長、松本組織委員長がホールの入口で出席者を出迎えた後、真柄(国立公衆衛生院衛生工学部長)プログラム委員の司会のもとに、合田会長による会議の持つ意義、関係方面の協力に対する感謝等を内容とした挨拶が行われ、さらに久保(日本下水道協会理事長)組織委員による乾杯の音頭により会食が始められた。口頭発表やポスター発表が丸2日間既に行われたこともあり、ホールのあちこちでなごやかに会話が弾み、料理をはおぼりグラスを傾けながら互いの挨拶、質問、議論等が、時間の経過を忘れて進められた。

Welcome party とレセプションの出席者のやりとりの多くを紹介できないことをお許し願いたいと思います。日頃、行政を担当していることもあり、森谷がレセプション等の間に話のやりとりができたことと言えば、中国環境科学学会の副秘書長の Dr. Zhu さん、同国の国家環境保護局の国際担当の Mrs. Liu さんから中国における環境対策の現状や、香港政府の環境保護庁の Mr. Choi さんから廃棄物の処理や近海の水質汚濁の悩みをお聞きしたり、南米や東南アジアからの JICA 環境技術コースの参加者や口頭発表の Chairman を一緒に務めた Dr. C. Polprasert (Asian Institute of Technology, Thailand) さんに日本の環境政策、特に環境庁の役割等を説明する程度でした。

また、会議の発表が終わった翌日の10月4日には、海外からの参加者を対象とした1日見学旅行を行いました。佐倉市を中心とする印旛衛生施設管理組合のし尿処理場、東金市の下水処理場および東京都の葛西処理場の3カ所の他、息抜きも兼ねて佐倉市にある国立歴史民俗博物館を見学しました。16カ国28名の方々の参加を得ましたが、見学先で非常に丁寧な説明を受け、皆様に満足いただけたようです。

Masaru Moriya

昭和52年 環境庁大気保全局

54年 同庁企画調整局

56年 同庁大気保全局

59年 同庁水質保全局水質管理課

Ken Murakami

昭和38年 建設省土木研究所

59年 日本下水道事業団計画上席調査役

工学博士

〔趣味〕 探偵小説

* About Social Programme in IAWPRC 1st Asian Conference, 昭和60年12月25日受理